

選挙演説を見に来た留学生に教えられたこと

◆総選挙と政治家の演説を見ていた日本語学校の生徒たち

先日 10 月 22 日は、第 48 回総選挙であった。今回の解散総選挙は、様々なことが話題になった。そもそも解散のタイミング。国際関係が緊迫しているこの時期に、なぜ解散をしたのかということが当初話題になった。特に、臨時国会の冒頭での解散は、首相の森友・加計学園問題の疑惑隠しではないかというような声も多く聞かれたことは事実である。しかし、それ以上に話題になったのが、野党分裂ということではないか。ここは日本の政治を語る場所ではないので詳しくは語らないが、小池百合子代表を擁した希望の党と前原誠司代表による民進党の合流、そして民進党議員が別に立憲民主党を立てて、野党分裂選挙に突入したことは、たぶん日本の政治史に残るものではないかと思われる。実際、解散総選挙後に、ここまで混乱した選挙戦は、なかなかないのではないかと。選挙の結果は、皆さんすでにご存じの通りである。

今回問題視したいのは、「選挙」において上記に書いたような「ヒトの流れ」、つまり「政局」ばかりの報道で、いつの間にか「政策」が忘れられていることである。今回の総選挙の中でも争点とされたのが「憲法改正」と「消費税増税」であった。もちろん日本人、そして選挙における有権者にとって、そして「憲法」も「消費税」も重要な政策であるが、マスコミ報道はいつの間にか選挙の印象を伝えるものになってしまい、政策をしっかりと吟味するような場が少なくなってしまうのではないかと。そのことを非常に悲しく感じるのである。

今回の選挙取材の傍ら、ある候補の演説を聴いている外国人の集団があった。尋ねてみると、日本語学校の学生で、これからアルバイトに行く途中だと言う。もちろん、彼らに選挙権はない。しかし、彼らは非常に真剣に候補者の演説を聴いていた。

「なぜ、日本の政治家は他人の悪口しか言わないのか」

「どうして、自分の政策を、胸を張って言わないのか」

ミャンマー人と韓国人、中国人など様々な国籍の学生たちが、演説を聴きながら面白そうに、そのようなことを言っていた。さらに尋ねてみると、

「日本語学校の先生が、『人の悪口を言ってはいけない』と言っているのに、日本の政治家がそれを言ってもよいというのはおかしくないですか」と言った。問いに対して訴えたその言葉に、答えを失うしかない。もちろん、ここで言う「悪口」とは、北朝鮮のことではな

く、選挙戦での他の政党や他の候補者のことである。北朝鮮のミサイル発射に対しての批判は、彼らも理解すると言うが、他の政党や他の候補者のことを悪く言うのは、彼らには理解できないと言う。

「トランプと金正恩と同じだ」

まさにその通りであり、何となく恥ずかしい気がした瞬間である。

◆日本語学校の生徒たちは政治家に何を期待していたのか

アルバイトまで少し時間があると言うので、そのまましばらく学生たちの話を聞くことにした。「選挙権もないのに、なぜ政治家の演説を聞いていたのか」と聞くと、「日本の選挙などはなかなか見ることのできるものではないので、興味がある」と言う。また、「普段の日本語の勉強でどれくらい演説を理解することができるのか挑戦してみたいため」とも言った。もちろん、難しい言葉や略語などは理解できなかったようであるが、それなりに理解していたようだ。

そこで、「日本の政治に何を期待しているのか」ということを聞いてみる。当然に「自分たちがどうなるのか」、つまり日本にいる外国人がどのようになるのか、または日本での就職がしやすい環境になるのかということに興味があるようだ。また、「選挙権はないけれども、政治の動きには興味があります。日本人よりも日本にいる外国人の方が、政治や選挙結果の影響を受けやすいです。だから、いろいろな人（候補者や政党）の話を聞いて、考えておかないと大変なんだ」と言った。具体的には、「奨学金」や「就職」ということや、「ビザの発給」ということもある。しかし、「そのようなことではなく、政治がどちらに動くかによってアルバイト先の人や、住んでいる近所の日本人の、私たちを見る目が変わるんです」と言うのである。

これが、選挙で人権派が勝てば自分たちが保護されるという単純なものでもないという。彼らの話によると、外国人への保護政策が強くなれば、それだけ日本人の中に不安が募り、そのことによって自分たちが不利な扱いを受ける。また、保護が強くなれば外国人の居住者は有利になるが、日本に来ている留学生はあまりその恩恵を受けることがなく、彼らの言う「外国人社会」の中で階級のような差別化ができてくるというのである。普段聞けない話であるために、なかなか興味深く話を聞くことができた。単純な保護というようなものだけでなく、「現場やその人の立場を考えた政策」をしなければならぬということである。

話を戻すと、彼らは自分たちのことばかりではなく、「外交」にも興味があると言う。そして、「私の母国と日本の関係がどうなるか興味があります」とも言った。ある意味で、これも当然のことである。留学生の多くが「母国と日本の懸け橋になりたい」ということを言うからである。日本と母国の関係が良くなるということは、当然に彼らの興味の一つであることは間違いがない。彼らに話を聞けば、漠然としたものではなく、具体的なことを言う人も少なくない。例えば、「日本の企業の景気が良くなって、私の母国に多くの日本企業が進

出してくれることを希望します。政治で経済が良くなり、また日本の企業が海外に進出しやすくなると、私の兄弟も就職ができるし、母国の経済も良くなります」と言う学生もいた。実際は、母国というところには具体的な国名が入るうえ、ここまで明確な日本語を話してもらったわけではないが、文章にする都合で少し直させてもらっている。他の学生は、「私も母国に帰りたいし、その中で日本との懸け橋となり就職をしたい。だから日本企業が国に来てくればよいし、私も母国に帰ることができる」というようなことを言う人もいた。

外国人の留学生が、日本の経済について興味があるというのもおかしいと、違和感をもつ人もいる。しかし、彼ら自身で、または彼らの母国の人々が行ってもできないような習慣や文化があり、それも企業の中に存在するそれらの文化が、日本企業の高い収益性と信頼に結びついているのである。その企業文化を自分の国に持ち込みたい、そのためには日本の景気が良くなって、母国に企業が進出してもらいたいという切実な望みは、政治と離れているようだが、ある意味で意外と近い内容ではないか。

そして、アルバイトに行く時間がきたので、去り際に彼らが言っていた言葉が印象的であった。「日本の選挙は、そのようなことを言わなくても良い。それは日本の人々が、すでに企業の文化などを持っていて、そのようなことをわざわざ言わなくてもよいということなんです。だから、政治もそのようなことを言う必要がないのです。私たちからすると、うらやましいことです」

日本人は今回の選挙の演説を聞いて、このような感想をもつ留学生たちがいることを知っているのでしょうか。

◆日本はこれでよいのかと思わせる「何か」

今回の選挙の中で、「働き方改革」ということが公約や政策の中の一つに入っている。あまり中心的な争点として扱われなかったために、マスコミなどで取り上げられることが少なかった。このことから、興味があり、また積極的な留学生が選挙演説を聞いているということになるのではないか、と思われた。

では、その「働き方改革」は、いったいどのような内容になっているのか。現在、言われているのは、「残業の禁止」とか「就労時間の短さ」ということばかりではないか。「働き方を改革する」と言いながらも、実際には「働かない方法」を選択しているような気がしてならない。しかし、そもそも「働く」ことそのものが楽しいということもあるし、良い経験であると思うことも少なくないと思う。そうでありながら「働かない方法」ということを訴え続ける現在の政府は、上記のように外国から留学生として来日し、日本の経済の発展と、それとともに日本の企業と日本の文化を母国に持ち帰りたいと願う彼らの目にどのように映っているのでしょうか。残念ながら、徐々に頼りない日本になってしまっているのではないかという気がしてならないのである。日本の政治は物事の本質に関してあまり言及することなく、表面の議論に終始し、お互いの誹謗中傷ばかりで政策の話をしなない。留学生たちが笑

う選挙になってしまっても仕方がないように思う。そのうえ、このような「働かない改革」の法案を次々と進めて、留学生が希望するように、日本企業が世界の模範となって、海外に進出する余力を作ることができるのであろうか。

そもそも「働き方改革」とは「働きながら、希望を持つ」ことであって、「働かないこと」や「趣味を持つこと」「遊びを優先すること」ではないはずである。日本語の勉強をしながら、なおかつアルバイトで働き、そして政治にまで興味をもって耳を傾ける彼らと、今働いている日本人は、どこがどのように違ってこのように変わってしまったのであろうか。

留学生の輝いた目と、一方で他者を誹謗中傷するプラカードを掲げた選挙演説の周辺の日本の若者たち、そして、それ以上に無関心に通り過ぎる人々。何か、違った空間が交差してしまっているような気がしてならないのである。そのうえ、留学生たちが主張する「外国人を保護するだけではだめだ」という行政。何か、現場からすべてが遠ざかって机上の空論で決まっている気がしてならないのである。

総選挙という空間の中で様々に考えることがある。このような日本の選挙を見て、留学生たちに、日本に対する失望を感じないでもらいたいと思う。